

# 議会だより しらおか Shiraoka



P2 条例、補正予算、予算の繰越、人事案件

P4 審議結果

P5 一般質問

P13 政務活動費報告

P14 組合議会報告

新広報委員紹介

篠津の天王様

※表紙のテーマは「まつり」です。

## No.204

2019.8.1

白岡市のホームページでも議会の情報が見られます。 <http://www.city.shiraoka.lg.jp/gikai/>



## 《6月定例会》

6月6日から26日までの21日間にわたって定例議会が開かれ、報告3件、諮問1件、市長提出議案6件を審議し、いずれも原案のとおり同意、可決しました。

### 介護保険に関する 条例改正と補正予算

介護保険法施行令の改正により、低所得者に対する介護保険料を軽減するものです。

	現行		改正後
年額①	25,700円	→	21,400円
年額②	40,000円	→	32,900円
年額③	42,900円	→	41,400円

なお、上記による減収分1227万6千円は介護保険特別会計繰出事業から繰出するものです。



### 災害弔慰金に関する条例改正

災害援護資金の貸付けにおいて、保証人を立てられるようになり、その場合は無利子となります。保証人を立てない場合は、その利率が年3%から1%となります。また、月々の返済が可能となります。

### 税条例等の一部改正

3年度から年収135万円以下の単身児童扶養者(ひとり親<sup>\*</sup>)に対する個人住民税が非課税になります。

<sup>\*</sup>未婚の場合を含めた



元年10月1日～2年9月30日までに軽自動車を取得した場合、軽自動車税の環境性能割を1%軽減します。

**問** 環境性能割を1%減ずることにより、どのくらい税収が下がるのか。

**答** 今年度の課税ベースで新車登録568台、中古車登録123台となっている。また、環境性能割交付金を含めた市の歳入では、約84万円減収が見込まれる。



## 選挙制度改革

市議会議員選挙・市長選挙における選挙公報の原稿は、紙媒体に加え電子データでも提出できるように条例を改正しました。

国・県・市の各種選挙において公正な選挙の実施と管理をつかさどる選挙立会人などの報酬に関して、一律に国の基準に合わせる条例改正を行いました。

**問** 期日前投票が始まるまでに選挙公報を発行すべきでは。

**答** 電子データでの提出が可能となるので、発行までの期間の短縮が可能となる。

**問** 改正条例案には電子データでの提出が可能である旨の文言は見当たらないが。

**答** 条例の文言を「添付」と改めることで電子データでの提出が可能となると解する。

**問** 改正後も紙媒体での提出は可能か。

**答** 可能である。

**問** 今後も紙媒体の提出もあるのなら発行までの期間の短縮には繋がらないのではないか。

**答** 実際の運用を見ながら見極めたい。

## 一般会計、特別会計 補正予算

今回の補正予算は、予算総額に1億1495万4千円を追加し、総額を142億4495万4千円とするものです。

歳入の主なものは、国庫支出金などです。

歳出の主なものは、プレミアム付商品券発行準備事業と風疹予防接種事業（対象は昭和37年4月2日生～昭和54年4月1日生の男性です。）などです。

**問** プレミアム付商品券事業の取扱店は、前は157店であったが今回はどの程度か。

**答** 今回についても同程度を見込んでいる。

## 予算の繰越

### 平成30年度 一般会計繰越明許費繰越計算書の報告

30年度一般会計歳出予算のうち、年度内に執行が完了しなかった11事業について総額で2億2307万3485円を元年度に繰越しました。

### 平成30年度 一般会計事故繰越し繰越計算書の報告

30年度一般会計歳出予算のうち、不測の日数を要し年度内に完了に至らなかった1事業について、48万6千円を元年度に繰越しました。

### 平成30年度 蓮田都市計画事業白岡駅東部中央土地 区画整理事業特別会計繰越明許費繰越 計算書の報告

30年度特別会計歳出予算のうち、年度内に執行が完了しなかった事業について、総額で1480万円を元年度に繰越しました。

## 人事案件

### 人権擁護委員の推薦

元年9月30日で任期満了となる、人権擁護委員の天野次子氏の後任として、黒須琢也氏を推薦することを適任と認めました。



# 《6月定例議会の審議結果》

(○：賛成 ×：反対 退：退席 ー：採決なし)

議席番号・議員名		1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	議決結果	
		中村 匡志	野々口 眞由美	斎藤 信治	山崎 巨裕	関口 昌男	松本 栄一	中山 廣子	菱沼 あゆ美	渡辺 聡一郎	加藤 一生	中川 幸廣	藤井 栄一郎	細井 公勉	大島 勉	遠藤 誠	石原 富子	江原 浩之	井上 日出巳		
件名	一般会計繰越明許費繰越計算書の報告※1	ー	ー	ー	ー	ー	ー	ー	ー	ー	ー	ー	ー	ー	ー	ー	ー	ー	ー	ー	報告済み
	一般会計事故繰越し繰越計算書の報告※1	ー	ー	ー	ー	ー	ー	ー	ー	ー	ー	ー	ー	ー	ー	ー	ー	ー	ー	ー	報告済み
	蓮田都市計画事業白岡駅東部中央土地区画整理事業特別会計繰越明許費繰越計算書の報告※1	ー	ー	ー	ー	ー	ー	ー	ー	ー	ー	ー	ー	ー	ー	ー	ー	ー	ー	ー	報告済み
人権擁護委員の推薦につき意見を求めること		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	ー	適任
特別職の職員で非常勤のものの報酬及び費用弁償に関する条例及び選挙公報発行条例の一部改正		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	ー	原案可決
税条例等の一部改正		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	ー	原案可決
災害弔慰金の支給等に関する条例の一部改正		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	ー	原案可決
介護保険条例の一部改正		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	ー	原案可決
令和元年度	一般会計補正予算(第1号)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	ー	原案可決
	介護保険特別会計補正予算(第1号)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	ー	原案可決

※1 報告議案については、報告のみの案件で、採決はありません。

※2 18番 井上日出巳議員は議長のため、採決には加わっていません。



# Q&A

## 一般質問

# 市政のそこが聞きたい!

6月定例議会の一般質問は、15名の議員が36項目について行いました。

### ◆藤井栄一郎 議員

- 大山・菁莪地域の活性化推進について
- 土地利用について

### ◆加藤一生 議員

- 通学路等の車歩道分離化の推進について
- 高齢者の健康維持・促進を図る対策について

### ◆中山廣子 議員

- 食育の取組について
- 英語検定の検定料助成について

### ◆細井 公 議員

- こもれびの森の現況について
- 既存住宅の整備について ○駅周辺の活性化について

### ◆中村匡志 議員

- 戸籍謄本・住民票などのコンビニ発行の導入について
- 幹線道路の整備について

### ◆遠藤 誠 議員

- 白岡中学校周辺の開発について
- 市内地域間交流について ○起業機会について
- 農地への太陽光発電設置基準について
- アクティブシニア活躍支援事業について

### ◆野々口真由美 議員

- 今後の街づくりについて
- さわやか相談員などの学童期の子どもの支援体制と現状について
- 住民サービスの向上について

### ◆渡辺聡一郎 議員

- 白岡中学校周辺区域の土地利用について
- 公共施設・公園の更なる魅力の向上に向けて

### ◆松本栄一 議員

- 通学路の安全確保について
- 小学校の英語教科について

### ◆菱沼あゆ美 議員

- 道路損傷などの市民による通報について
- 選挙の期日前投票について ○公園について

### ◆中川幸廣 議員

- 西地区の「ハエ」の問題について
- 私道の整備について
- 小学校の英語教育について

### ◆関口昌男 議員

- 南小学校周辺の整備問題について
- 人口問題について

### ◆石原富子 議員

- 地域公共交通の改善策は
- 成年後見制度の普及に向けて取組は

### ◆斎藤信治 議員

- 市議会議員選挙の問題 ○体育協会の改革を

### ◆山崎巨裕 議員

- 学校給食の実態と学校給食費の無料化について
- ※ 1人につき2項目までを要約して掲載しています。



藤井栄一郎 議員  
(清明会)

## 問 土地利用の今後の方針は

第5次総合振興計画で、土地利用基本構想があり、新たな土地利用が示されている。国道122号沿いの工業系産業誘導区域、県道春日部菖蒲線を含む商業サービス誘導区域の現況と今後の方針は。レクリエーションゾーンに柴山沼を接し『白岡道の駅』構想は。

## 答 地域の特性に合った土地利用を検討する

工業系産業誘導区域では、市の発展に資するよう、既存の区域を含め一体的な整備を行っていくことが望ましい。商業サービス誘導区域では、施設建設の問合せはないが、立地を図るため開発許可の規則などを改正した。道の駅の設置は、慎重に検討していく。

## 問 大山・菁莪地域の活性化推進は

第5次総合振興計画で、『誰もが交流するまち』を掲げ取り組んでいる。地域活動の活性化の参加状況と今後の取組について伺う。また、白岡の特産品である梨のブランド化『白岡美人プロジェクト』の今後の推進方法と目標について伺う。

## 答 事業の周知を図り取組を推進していく

昨年度は、約770人の方が地域活性化に関する事業に参加した。今後は、積極的に事業のPRを行い、その推進を図る。白岡美人プロジェクトは、白岡の梨を全国有数のブランド梨にすることを目標とし、梨生産者などの関係者と一体となって取組を進めていく。



君津市での梨の販売会

**問** 高齢者の健康維持・促進を図る対策は

具体例として、「グラウンド・ゴルフ競技」について問う。埼玉県は、グラウンド・ゴルフ競技者人口が、全国2位であり、当市でも多数の高齢者が日々この競技に参加している。そこで、①常設型の専用コートを設置する計画はあるか。②今後の対応はどうか。

**答** 建設計画はないが状況に応じて検討する

現在のところ、グラウンド・ゴルフ専用コートの具体的な建設計画はない。今後、高齢者人口の増加にともない、競技人口が増え、グラウンド・ゴルフ場が不足して、十分に競技が行えない状況が生じた場合には、グラウンド・ゴルフ場の整備を検討していく。



加藤一生 議員  
(清明会)



蓋掛けされていない水路

**問** 通学路等の車歩道分離化の推進状況は

具体例として、「白岡第一ノ二号幹線（マミーマート裏側～東北道の側道の市道側の下水道）」の歩道化事業はどういう計画で行われるのか。道路を挟んで反対側（車道側）のU字溝の蓋掛け計画はあるのか。本年度はどこまで実行するのか。完成はいつか。

**答** 歩行者の安全を最優先に事業を進める

白岡第一ノ二号幹線水路を有効活用し、歩道化を進める。今年度は調査設計業務委託を実施中であり、U字溝については蓋掛けの必要性なども含め検討する。工事は翌年度以降実施する予定であるが、複数年かかる見込みのため、完成時期は未定である。

**問** 食育の取組は

6月は食育月間である。子どもから高齢者まで、健全な食生活を実践するための食育を広げていく必要がある。市としての取組と、社会的関心事の食品ロスを食育に今後どのように生かしていくのか。また、スローガン入りの啓発品などを作成してはどうか。

**答** 健康な食生活の啓発などに努めていく

食育に関する市の取組として、健康な食生活の啓発、共食の大切さについての周知、地産地消や食の大切さの理解促進などに取り組んでいる。また、食品ロスの削減については、国や県の動向を注視し、事業者、消費者など、関係機関と協力・連携してまいりたい。



中山廣子 議員  
(公明党)

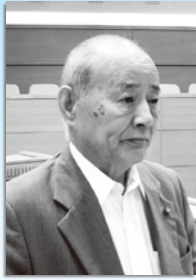
**問** 英語検定の検定料の助成を

文部科学省では、中学校卒業時の英語力として、英語検定3級程度以上を目標としている。その目標達成と学習意欲を高めるために、また経済的な理由で、受検を諦めなければならぬ生徒をつくらなため、英語検定の検定料を助成できるようにしてはどうか。

**答** 近隣市町の実施状況を調査・研究していく

市では現在、外部機関が実施する資格試験の検定料の助成は行っていない。来年度から小学校で外国語が教科となることなどから、外国語教育や英語検定への関心は高まっており、今後は国や県の動向を注視しながら、近隣市町の実施状況を調査・研究していく。





細井 公 議員  
(白新会)

**問** 既存住宅地の整備は  
いかがか

既存住宅地域には、道幅が狭く車とのすれ違い時に歩行者の行き場がない場所が多い。このような環境では、生活環境として安心できず、一層の地域過疎化、高齢化を招くだけだと考える。安心して歩ける環境のためにも排水溝の蓋の完備が急務と考えるがいかがか。

**答** 状況を総合的に判断し  
対応していく

既存住宅地の排水溝は、現在使用している側溝と規格や構造が異なるため、排水溝の入れ替えが必要となり、多額の費用を要する。地域のバランスや通行者の利用状況などを総合的に判断し、安心・安全に生活できる道路整備を進めていく。

**問** こもれびの森の現状と  
今後は

こもれびの森のホールの利用について、利用率向上のためにどのような見込みをたて、努力をしているか伺う。また、成人式の際に、ご両親がロビーで式典終了まで待たされた事態について、市としてどのように感じ、今後どのような対策を講じるか伺う。

**答** ニーズに合った施設運営  
を進めていく

5月31日で延べ6,556人がホールを利用している。今後も分割利用を含めて積極的に広報していく。成人式ではご家族の席は設けていないが、式典の様子を御覧いただけるようモニターを設置した。今後もセンターを活用し、新成人の門出をお祝いしていく。



中村 匡志 議員  
(創政会)

**問** 戸籍証明などのコンビニ  
発行の導入を

さいたま市・春日部市・越谷市・久喜市・加須市・幸手市・宮代町などが既に導入しており、伊奈町・杉戸町なども元年度中に導入するため、近隣市町村では白岡市と蓮田市のみが未導入となる。市の電算システム全体の動向もふまえた導入状況について伺う。

**答** 現段階の導入は難しいが  
検討を進める

コンビニ発行を導入するメリットは大きいと認識しているが、初期費用やランニングコスト、個人番号カードの普及率(約11%)などを勘案した結果、現段階での導入は難しい。市の情報システムの更新時期などとあわせてさまざまな観点から検討を進めていく。

**問** 実ヶ谷周辺の幹線道路の  
整備の状況は

都市計画道路太田新井小久喜線は50年間未整備のままだが、買収状況は。事業化困難な区間の計画変更や太田新井方面への延伸経路の早期決定が必要ではないか。事業化が遅れるようなら取り急ぎ幹線市道の整備・改良などにより地元住民の要望に応えるべきでは。

**答** 市域全体で総合的に  
判断していく

白岡駅西口線などの整備を優先して進めているため、用地買収していない。また、計画変更や延伸などの予定もない。今後、土地利用の変化などがあれば、計画の見直しを検討しなければならないと考えている。幹線市道の整備は、市域全体で総合的に判断していく。



都市計画道路の予定地

**問****白岡中周辺と東武動物公園駅西口開発は**

東武動物公園駅西口は駅から0分、地権者は東武鉄道。好条件にもかかわらず商業施設は計画段階で進んでいない。今の時代の大型商業施設の不可能性を示しているのではないか。コンサルの情報は、また視察など容易にできるのではないか。

**答****市民や企業の意向を分析し取組を進める**

白岡中学校周辺区域では、市街化区域への編入が具体化してくれば、進出を検討する企業の引合いが活発化してくると見込まれる。関係権利者の意向はもとより、市民の要望、事業者側の意向などを分析して、本区域に望ましい土地利用となるよう取組を進めていく。



遠藤 誠 議員  
(清明会)

**問****生涯学習センター周辺の飲食への対応は**

施設の検討段階でも、飲食できる施設に強い要望があった。施設の中へ作れとは言わないが、土曜日曜のこもれびの森などのイベントも含めてこの周辺での飲食の提供は不足していると思われる。この周辺への飲食業の起業を促すことはできないのか。

**答****創業ニーズに応じて情報提供をしていく**

生涯学習センター周辺は、昼夜間人口の差が大きく、商圈としての購買力はないものと推測される。今後、飲食店などの出店に関する相談があった場合には、関係課と調整し、立地の可能性などについて創業希望者に対し、適宜情報提供を行っていく。

**問****さらなる住民サービスの向上を**

新白岡駅東口の市役所連絡所建設計画の現状は。市内全域に対応できる移動型市役所(市民サービスカー)の導入を検討してはどうか。証明書発行だけでなく、近くで相談できる窓口の存在も必要である。今後の新たな住民サービスについて伺う。

**答****住民サービス向上の方策を調査研究する**

新白岡駅東口の市有地は、社会状況の変化や市の財政状況をふまえて、売却も視野に入れた検討を行っている。新たなサービスの導入には、十分な検証が必要である。市民が身近で気軽に手続きを行えるよう住民サービスの向上につながる方策を調査・研究していく。



野々口眞由美 議員  
(TSUNAGU)

**問****悩みを抱えた子どもの支援の改善を**

悩みを抱える子どもによる相談が年々増加しているにもかかわらず、さわやか相談員の勤務時間を削減。また、学校・さわやか相談員・教育支援センター・SSW\*が連携し支援する体制があるものの、機能していないのではないか。現状と改善策を伺う。

**答****学校・関係機関との連携を深めていく**

市ではSSWを教育支援センターに配置し、学校からの依頼を受け派遣している。今後も学校や関係機関との連携を深め、児童生徒やその家庭に対して必要な支援を行うことができるよう、教育相談の充実に努めていく。



\*SSW スクールソーシャルワーカーのこと





渡辺聡一郎 議員  
(創政会)

**問** 白岡中学校周辺の  
グランドデザインは

白岡中学校周辺の土地利用は、単に商業施設を誘致するだけではなく、特色ある魅力的なグランドデザインを描いていく必要がある。白岡駅西口周辺のグランドデザインも同時に描き一体的整備も検討していくべきだ。市は具体的な構想図をどのように作成していくか。

**答** アンケート結果を活用し  
将来像を整える

駅前に求められる機能と、白岡中学校周辺の新市街地に求められる商業施設などの機能が最大限に発揮できるまちづくりを進めることが重要である。道路などの整備計画のみならず既存商店会との融和施策などのソフト面も含め相乗効果が生まれるよう検討を進める。

**問** カフェなどで  
魅力ある公園づくりを

都市公園法が改正され、都市公園の活性化や魅力向上が期待されている。民間主導により公園にカフェやレストランを設置し、その収益を公園管理に充てる自治体も増えている。国の制度改正を受けて、市は今後の都市公園の活性化についてどのような考えがあるか。

**答** 先進事例などを  
調査・研究していく

新制度による民間活力の導入は、公園管理者の財政負担を軽減し公園の質や利用者の利便の向上が期待できるため、公園の活性化や魅力向上に有効な方法である。公園の活性化は、公園のあり方にとって重要な要素であるため先進事例などを調査・研究していく。



松本栄一 議員  
(創政会)

**問** 小学校の英語教科化に  
向けて

現在、小学校の英語の授業は外国語活動であり、英語の教員免許を持つ先生が少ないなか、来年度より英語は教科となるが、現在の授業内容は。来年度より、教科としての英語および通知表の評価に、英語の教員免許を持つ先生が必要と思うが、配置の予定は。

**答** 授業の改善と教員の  
指導力向上を図る

中学年は外国語に慣れ親しむため「聞く・話す」を中心に、高学年からは「読む・書く」を加え学習を進めている。今後は授業の充実と適切な評価を行うため、専科指導教員の配置に努めるとともに研修を充実させ、授業の改善と教員の指導力向上を図っていく。

**問** 通学路の安全確保を

市内の小中学校の通学路には、交通量の多い交差点・柵のない用水路の際・劣化したブロック塀などの危険箇所があるが、点検と対応の状況は。また、市道および県道の横断歩道際にガードレールがなく、危険な交差点が多数あるが、今後の安全対策は。

**答** 児童生徒の安全確保の  
向上に努める

市内の小中学校では、毎年度1学期に通学路の安全点検を実施しており、点検結果を関係各課で共有のうえ修繕などを実施し、通学路の安全確保に努めている。また、歩行者の多い危険な交差点などには、ガードレールなどの交通安全施設の設置を検討していく。



通学路になっている交差点

**問** 道路の不具合を市民通報で安心安全に

道路の破損などの不具合は、交通事故の原因や通行の妨げになる。市民の協力で、スマートフォンやパソコンから道路の不具合箇所の画像と情報を通報してもらう取組がある。24時間通報可能である。安心安全のまちづくりのために、市として、始めてはいかがか。

**答** システムの導入に向けて研究していく

道路の不具合箇所をスマートフォンなどから手軽に通報できるシステムは、安全な道路環境維持のための有効な手段のひとつである。道路のさらなる安全維持のため、先進自治体の例を参考にしながら、システムの導入に向けて調査・研究していく。



菱沼あゆ美 議員  
(公明党)



**問** 都市公園と児童遊園も敷地内禁煙へ

今年の7月から、市役所などの屋内外の公共施設が敷地内禁煙になる。乳幼児や妊婦の受動喫煙防止のために、都市公園と児童遊園も敷地内禁煙にすべきである。また、禁煙マークを設置するなどの周知が大切であると考えているが、いかがか。

**答** 敷地内禁煙の周知に努める

昨年の健康増進法の一部改正にともない、望まない受動喫煙の防止から都市公園は敷地内禁煙とした。簡易児童遊園は、改正をふまえて敷地内禁煙としていく。市公式ホームページに記事を掲載し、園内にポスターなどを掲示するなど周知に努める。

**問** 西地区の「ハエ」の問題は

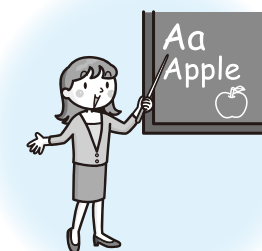
西地区では昨秋より「ハエ」が異常に発生した。今日では大分少なくなったが今後梅雨のシーズン・猛暑のシーズンとまたハエの飛散の再来が考えられる。白岡市として異常発生の原因が何なのか、また場所がどこなのか、そして今後の対応はどうするのか伺う。

**答** 引き続き、県や蓮田市と連携していく

発生原因は、蓮田市内の事業所の堆肥製造によるものであった。今後は、蓮田市が2週間に1度巡回し、その情報を提供していただく。市民から相談があった際は、現地を確認し、蓮田市と連携して、県の協力を得ながら、立入調査や指導を行うよう努めていく。



中川幸廣 議員  
(白新会)



**問** 小学校の英語教育の現状と今後を伺う

来たる2年より小学校の英語教育が本格化する。児童も先生も対応や準備に大変なことと思う。また市としても先生のオーバーワークの対策や児童への指導などは難問題と考える。それらの難問題に対して市としてどのような対応を行うのか伺う。

**答** 教員の指導力向上と負担軽減に取り組む

2年度から小学校3・4年生で週1回の外国語活動、5・6年生で週2回の外国語科の授業が行われる。今後、小学校教員の研修を充実させ、指導力向上を図る。また、英語指導助手の配置や業務改善検討委員会を立ち上げるなど教員の負担軽減に取り組む。



関口昌男 議員  
(日本共産党)

### 問 南小学校周辺の整備は

JR白岡駅から比較的近距离にある南小学校周辺の市街化調整区域に建設許可された住宅はどのくらいあるか。また、住宅建設が進んでいる状況なのだから側溝などの住宅環境の整備を進めてはどうか。また、この地域に公園用地などの先行取得はできないか。

### 答 市内の整備状況などを考慮して検討する

南小学校周辺の開発許可件数は、過去5年間で17件である。側溝などの住環境の整備は、環境の変化に応じ他の地域の整備状況などを考慮しつつ検討していく。新たな公園の整備は、市内の公園の配置状況などを総合的に勘案し計画的に取り組んでいく。

### 問 人口問題を伺う

市の人口は本年4月1日現在、対前年度比で町制施行以来初めて減少を記録した。これはどのような要因によるものか。このことによって、シティプロモーション戦略の見直しの必要はないか。また、この戦略の中にあるWi-Fiの整備計画はどのように進める予定か。

### 答 戦略の次期改定時に施策の見直しを図る

前年度と比較して転出者が多く、初めて自然減が社会増を上回ったことにより、人口減少となった。シティプロモーション戦略は、3年度の次期改定時に各施策の見直しを図っていく。Wi-Fi整備は、利用者のニーズなどに応じて順次導入を検討していく。



石原富子 議員  
(TSUNAGU)

### 問 成年後見制度の普及に向けて

認知症高齢者が安心して生活していくために、成年後見制度があるが、十分活用されていない。国は制度の周知徹底と活用のために各市町村に中核機関を設置すべきと示した。資産保護や権利擁護の観点からも重要である。当市における中核機関の予定はあるか。

### 答 成年後見制度の普及と利用促進に努める

制度について市民のかたがたの関心と理解を深めていただき、制度の利用促進が図れるよう広報紙などで周知を行う。また、市としての中核機関のあり方などを久喜地区協議会に参加し、近隣市町や専門職団体と情報交換、意見交換を行いながら検討してまいりたい。

### 問 地域公共交通の改善策は

市議会議員選挙時、市民の大多数の要望が公共交通の改善を求める声であった。市には交通弱者・買い物難民が多く存在する。

市民の声に真摯に耳を傾け、超高齢社会のニーズに合わせて今こそ地域公共交通を見直すべき時期である。改善策を練るべきでは。

### 答 のりあい交通のさらなる充実を図る

のりあい交通は、本格運行から4年が経過し、市民の皆様に着実にご利用いただける事業として成長してきた。契約更新時期の3年度を目途に運用の見直しを図る。また、第6次総合振興計画を策定する中で地域公共交通に関する施策の検討を進めていく。



**問** 誰もが選挙権を行使できる環境を

選挙権は、憲法で保障されている重要な権利であるが、老人施設や病院などに入所・入院している方は、投票所に行くことが困難なため、投票することが難しい。

誰もが、投票できる環境を構築するべきではないか。

**答** 指定施設では施設で不在者投票ができる

県選管から指定を受けた老人施設などの指定施設に入所している方は、その施設で不在者投票ができる。重度の障害のある方は、自宅などで郵便による不在者投票ができる。それ以外の方への移動支援などの対策は、先進事例などをふまえ今後検討していく。



齋藤信治 議員  
(TSUNAGU)



第43回 市民体育祭 開会式

**問** 体育協会をNPO化し魅力ある団体に

体育協会の構成団体(サッカー協会以外)は、高齢化と会員減少により縮小している。若者が参加したくなる体育協会となるために、NPO化し総合運動公園などの指定管理者となつてはどうか。そして利用者の立場で使いやすい公園管理をしたらどうか。

**答** 要望があれば話し合いを進めていく

現在のところ、体育協会からNPO法人となり市のスポーツ施設の指定管理者となりたいとの要望はない。今後、要望があれば先進事例を参考にし、体育協会と話し合いを進めていく。また、利用者の立場に立った使いやすい施設となるよう調査・研究していく。

**問** 学校給食の無料化を

①温かくておいしい自校方式の学校給食を今後も堅持を。②教職員の長時間勤務の是正の一助ともなるので、給食費会計を私会計から公会計へ切り換えては。③いま各地の自治体で給食の無料化が始まっているが、当市でも学校給食の無料化を検討しては。

**答** 温かくておいしい給食を提供していく

自校方式を継続できるよう努力する。学校独自の行事に臨機応変に対応できる現在の私会計を継続したい。また、効率的に学校給食が運営できるよう支援していく。給食費の完全無料化は、現状では難しいが、引き続き他市町村の動向を注視していく。



山崎巨裕 議員  
(日本共産党)

**議会日誌**

**5月**

- 14日 第2回議会臨時会
- 21日 議会広報常任委員会
- 24日 県議長の定期総会
- 29日 関東議長の定期総会
- 30日 蓮田白岡衛生組合議会の臨時会
- 31日 議会運営委員会

**6月**

- 6日 第3回議会定例会

- 10日 第3回議会定例会
- 11日 第3回議会定例会
- 12日 第3回議会定例会
- 14日 第3回議会定例会  
議会広報常任委員会
- 18日 総務常任委員会
- 19日 文教厚生常任委員会
- 20日 産業建設常任委員会
- 26日 第3回議会定例会
- 27日 埼玉東部消防組合議会の臨時会

**7月**

- 1日 議会広報常任委員会
- 5日 蓮田白岡衛生組合議会の定例会
- 9日 議会広報常任委員会
- 11日 産業建設常任委員会の所管事務調査
- 22日 埼玉葛野組合議会の定例会
- 23・24日 文教厚生常任委員会の行政視察
- 25日 全員協議会
- 31日 県第4区議長の議員研修会

# ▶ 平成30年度政務活動費の収支報告 ◀

政務活動費は、会派の活動を補助する経費として、議員1人あたり月額1万円が交付され、用途の範囲は、右の表の項目に限られています。

提出された収支報告書には、領収書と実績報告書が添付され、残金がある場合は、その額を返還することになっています。

なお、交付額を超える支出額は、会派が負担します。

項目	内容
調査研究費	研修会などの開催に要する経費、他の団体が開催する研修会などへの参加に要する経費
調査費	交通費・宿泊費など、先進地調査に要する経費
会議費	会場費など、会議に要する経費
資料作成費	資料の作成に要する経費
資料購入費	定期刊行物・書籍などの購入に要する経費
広報費	会報印刷代など、住民への報告に要する経費
広聴費	会場費など、住民の要望・意見を聴くための会議などに要する経費
要請・陳情活動費	要請、陳情活動を行うために要する経費
事務費	事務用品購入代など、事務に要する経費

## 平成30年4月～平成31年3月分

創政会 4人	
政務活動費交付額	480,000円
調査研究費	205,635円
調査費	21,654円
支出合計額	227,289円
返還金	252,711円

開白会 2人	
政務活動費交付額	240,000円
調査研究費	152,078円
資料購入費	26,847円
事務費	37,077円
支出合計額	216,002円
返還金	23,998円

白新会 3人	
政務活動費交付額	360,000円
調査研究費	76,680円
調査費	94,570円
資料購入費	37,800円
事務費	11,600円
支出合計額	220,650円
返還金	139,350円

隼人 2人	
政務活動費交付額	240,000円
調査研究費	78,432円
調査費	132,101円
広聴費	5,683円
事務費	23,627円
支出合計額	239,843円
返還金	157円

市民クラブ 2人	
政務活動費交付額	240,000円
調査研究費	146,385円
資料購入費	37,796円
支出合計額	184,181円
返還金	55,819円

日本共産党 1人	
政務活動費交付額	120,000円
調査研究費	30,000円
資料購入費	90,805円
支出合計額	120,805円
返還金	0円

明政会 1人	
政務活動費交付額	120,000円
調査研究費	6,668円
資料購入費	35,796円
事務費	19,126円
支出合計額	61,590円
返還金	58,410円

公明党 2人	
政務活動費交付額	240,000円
調査研究費	18,470円
調査費	55,188円
資料購入費	55,843円
事務費	61,304円
支出合計額	190,805円
返還金	49,195円

好日 1人	
政務活動費交付額	120,000円
会議費	3,800円
資料購入費	8,943円
広報費	105,043円
事務費	2,360円
支出合計額	120,146円
返還金	0円



## 蓮田白岡衛生組合議会報告

30年組合議会は定例会4回が開催され、人事案件1件、条例関係3件、予算関係4件、決算認定1件、規則関係1件、規約関係1件、規約変更協議1件の合計12議案を審議し、うち11議案が原案のとおり可決、認定、同意され、うち条例関係1議案が否決されました。

30年度に衛生組合で受け入れたごみの総量は3万1,902 tで、前年と比べ316 t増加しています。そのうち、資源物の収集量は3,863 tでした。その後中間処理を経て、資源化量は7,073 t、最終処分場埋立量は868 tとなっています。

## 埼玉東部消防組合議会報告

30年組合議会は定例会2回、臨時会2回の計4回が開催され、条例関係2件、予算関係3件、財産取得2件、決算認定1件、規約変更など2件の合計10議案を審議し、いずれも原案のとおり可決、認定されました。

30年中の火災発生件数は、組合内165件、うち白岡市17件となっています。救急出動件数は、組合内2万1,722件、うち白岡市2,232件となっています。

救助出動件数は、組合内282件、うち白岡市が18件となっています。

## 埼玉葛藤組合議会報告

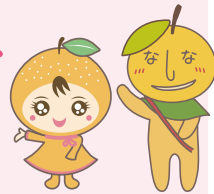
30年組合議会は定例会2回が開催され、規約変更協議2件、予算関係3件、決算認定1件の合計6議案を審議し、いずれも原案のとおり可決、

認定されました。

30年度の火葬実績は、合計で3,663体、内訳は、大人3,590体、子ども11体、死胎等62体となっています。また、組合外の火葬実績は合計で596体となっています。小動物合同葬実績は、組合内の総数が1,360頭、組合外の総数が90頭でした。



議会・委員会傍聴へ  
いらしてください  
(議場は市役所4階です)



次回の定例会は、  
**8月29日(木)**  
開会予定です。

## 6月定例議会傍聴者数

本会議	市内 56名	市外 1名	合計57名
委員会	市内 0名	市外 0名	合計 0名

## 議会広報常任委員会

委員長	斎藤 信治
副委員長	加藤 一生
委員	中村 匡志
委員	野々口 眞由美
委員	山崎 巨裕
委員	中山 廣子
委員	中川 幸廣

## 編集後記

広報委員はガラリと変わりました。以前からの懸案事項だった、議会だよりを刷新すべく以下の3点につき検討します。

- ①議会に提出された全議案を、ホームページに掲載。
- ②議会だよりに掲載する議案は、市民にわかりやすく詳しく解説。
- ③市民生活に影響する議案に紙面を割く。

議会だよりに対する、皆様のご意見・ご希望・ご感想をお寄せください。  
(斎藤)